



(題字 時澤 貢 学長)

第403号  
(平成10年 7 月号)



▲「着物着付け教室」で浴衣に着替え満悦の外国人留学生

## 目 次

関係法令 .....	3	職員消息	
学内規則 .....	3	◆ 住所変更 .....	30
諸会 議 .....	7	主 要 行 事 .....	30
学 事			
◆ 平成11年度富山大学入学者選抜要項を公表 .....	8		
人 事 異 動 .....	25		
学 内 諸 報			
◆ 次期経済学部長に古田教授を選出 .....	25		
◆ 大学構内（五福地区）の一斉清掃を実施 .....	26		
◆ 高等学校と富山大学との入学試験に関する 懇談会を開催 .....	26		
◆ 「着物着付け教室」を開催 .....	27		
◆ 学術講演会を開催（経済学部） .....	27		
◆ 水素同位体機能研究センターで外部評価を 実施 .....	28		
◆ 海外渡航者 .....	28		
◆ 外国人来訪者 .....	30		

## 関 係 法 令

(政 令)

- 大学等における技術に関する研究成果の民間事業者への移転の促進に関する法律の施行期日を定める政令(264)(平10.7.23 官報号外第150号)
- 大学等における技術に関する研究成果の民間事業者への移転の促進に関する法律施行令(265)(同上)

(規 則)

- 人事院規則9-17(俸給の特別調整額)の一部を改正する人事院規則(人事院9-17-69)(平10.7.1官報第2414号)

- 人事院規則9-30(特殊勤務手当)の一部を改正する人事院規則(人事院9-30-36)(同上)
- 人事院規則9-42(指定職俸給表の適用を受ける職員の俸給月額)の一部を改正する人事院規則(同9-42-14)(同上)
- 人事院規則9-49(調整手当)の一部を改正する人事院規則(同9-49-10)(平10.7.15 官報第2424号)
- 人事院規則9-55(特地勤務手当等)の一部を改正する人事院規則(同9-55-47)(同上)

## 学 内 規 則

## 富山大学人文学部規則の一部改正

## 富山大学人文学部規則の改正理由

- 1 再入学, 編入学, 転入学, 研究生, 科目等履修生及び聴講生の出願書類を見直し, 手続の簡素化を図るため, 所要事項を改める。
- 2 編入年次等を見直し, 制度の活用を図るため, 所要事項を改める。

富山大学人文学部規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成10年7月17日

富山大学長 時 澤 貢

## 富山大学人文学部規則の一部を改正する規則

富山大学人文学部規則(昭和52年5月16日制定)の一部を次のように改正する。

- 第13条第1項第4号を削る。
- 第14条第1項第4号を削り, 第5号を第4号とし, 第6号を削り, 同条第2項及び第3項を次のように改める。
- 2 編入学の時期は, 3学年の始めとする。
- 3 編入学を許可された者の在学すべき年数は2年とし、

4年を超えて在学することができない。

第15条第1項第4号を削り, 第5号を第4号とする。

第20条第5号を削る。

第21条及び第22条を次のように改める。

(科目等履修生)

第21条 本学部に科目等履修生として入学を志願する者の提出書類については, 前条の規定を準用する。

(聴講生)

第22条 本学部に聴講生として入学を志願する者の提出書類については, 第20条の規定を準用する。

## 附 則

この規則は、平成10年7月17日から施行する。

## 富山大学自己点検評価規則の一部改正

## 富山大学自己点検評価規則の改正理由

富山大学に学内共同利用施設として富山大学環日本海地域研究センター及び富山大学機器分析センターが設置されたことに伴い、所要事項を改める。

富山大学自己点検評価規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成10年7月17日

富山大学長 時 澤 貢

## 富山大学自己点検評価規則の一部を改正する規則

富山大学自己点検評価規則（平成4年9月11日制定）の一部を次のように改正する。

第3条中第15号を第17号とし、第14号の次に次の2号を加える。

(15) 環日本海地域研究センター長

(16) 機器分析センター長

第7条に次の2号を加える。

(12) 環日本海地域研究センター

(13) 機器分析センター

## 附 則

この規則は、平成10年7月17日から施行する。

## 富山大学将来計画委員会規則の全部改正

## 富山大学将来計画委員会規則の改正理由

富山大学将来計画委員会の任務及び組織を見直し、同委員会の運営をより円滑に行うため、所要の改正を行うとともに、併せて規定の整備を行う。

富山大学将来計画委員会規則の全部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成10年7月30日

富山大学長 時 澤 貢

## 富山大学将来計画委員会規則

富山大学将来計画委員会規則（昭和55年6月27日制定）の全部を改正する。

## （設 置）

第1条 富山大学（以下「本学」という。）に、富山大学将来計画委員会（以下「委員会」という。）を置く。

## （任 務）

第2条 委員会は、本学の将来計画に関する事項を審議する。

(組 織)

第3条 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 学長
- (2) 学部長
- (3) 附属図書館長
- (4) 学生部長
- (5) 学内共同教育研究施設の長
- (6) 学部から選出された教員 各1人
- (7) 事務局長
- (8) その他学長が必要と認めた者

(任 期)

第4条 前条第6号の委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、欠員を生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 前条第8号の委員の任期は、その都度定める。

(委員長)

第5条 委員会に委員長を置き、学長をもって充てる。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。ただ

し、委員長に事故あるときは、委員長があらかじめ指名した委員がその職務を代行する。

(専門委員会)

第6条 委員会に、具体的事項を審議するため必要があるときは、専門委員会を置くことができる。

2 専門委員会に委員長を置き、委員の互選によって定める。

3 専門委員会が必要と認めたときは、委員以外の者の出席を求めて意見を聴くことができる。

4 前各項に定めるほか、専門委員会に関し必要な事項は、別に定める。

(庶 務)

第7条 委員会及び専門委員会の庶務は、庶務部庶務課において処理する。

附 則

この規則は、平成10年7月30日から施行する。

## 富山大学大学改革準備委員会規則の全部改正

### 富山大学大学改革準備委員会規則の改正理由

富山大学大学改革準備委員会の任務及び組織を見直し、同委員会の運営をより円滑に行うため、所要の改正を行うとともに、併せて規定の整備を行う。

富山大学大学改革準備委員会規則の全部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成10年7月30日

富山大学長 時 澤 貢

### 富山大学大学改革推進委員会規則

富山大学大学改革準備委員会規則（昭和45年12月4日制定）の全部を改正する。

(設 置)

第1条 富山大学（以下「本学」という。）に、富山大学大学改革推進委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(任 務)

第2条 委員会は、学長の諮問に応じて、本学の教育研究の一層の高度化、個性化及び活性化を推進するため、

大学改革に関する事項を審議し、学長に答申する。

(組 織)

第3条 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 学部長
- (2) 附属図書館長
- (3) 学生部長
- (4) 学部から選出された教員 各1人
- (5) 事務局長
- (6) 自己点検評価委員会各専門委員会主査

(任 期)

第4条 前条第4号の委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、欠員を生じた場合の補欠の委員の

任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第5条 委員会に委員長を置き、学部長の中から選出する。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。ただし、委員長に事故あるときは、委員長があらかじめ指名した委員がその職務を代行する。

(専門委員会)

第6条 委員会に、具体的事項を審議するため必要があるときは、専門委員会を置くことができる。

2 専門委員会に委員長を置き、委員の互選によって定める。

3 専門委員会が必要と認めるときは、委員以外の者の出席を求めて意見を聴くことができる。

4 前各項に定めるほか、専門委員会に関し必要な事項は、別に定める。

(庶務)

第7条 委員会及び専門委員会の庶務は、庶務部庶務課において処理する。

附 則

この規則は、平成10年7月30日から施行する。

## 富山大学懇談会設置要項の制定

### 富山大学懇談会設置要項の制定理由

本学の教育研究の充実とともに地域社会との連携を図り、より魅力ある大学として発展することを期して、富山大学懇談会を設置するため、所要事項を定める。

富山大学懇談会設置要項を次のとおり制定する。

平成10年7月30日

富山大学長 時 澤 貢

### 富山大学懇談会設置要項

平成10年7月30日制定

(設 置)

第1 富山大学(以下「本学」という。)の教育研究の充実と発展を期して、大学の自主性を基礎としつつ、必要に応じて学外有識者から意見を聴くため、学長のもとに富山大学懇談会(以下「懇談会」という。)を置く。

(委 員)

第2 懇談会の委員は、人格識見が高く、広く社会の実

情に通じ、かつ、本学の振興発展に関心と理解のある学外者のうちから、学長が委嘱する。

2 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。  
(懇談会の開催)

第3 懇談会は、必要に応じて開催する。

(その他)

第4 この要項に定めるもののほか、懇談会の運営に関し必要な事項は、学長が別に定める。

附 則

この要項は、平成10年7月30日から実施する。

## 第2回入学試験委員会（7月3日）

（審議事項）

- (1) 平成11年度富山大学入学者選抜要項(案)について
- (2) 平成11年度富山大学学生募集要項(案)について
- (3) 平成10年度高等学校と富山大学との入学試験に関する懇談会実施計画(案)について
- (4) 平成10年度富山大学説明会実施計画(案)について

## 第2回教務委員会（7月3日）

（審議事項）

- (1) 介護等体験に対する対応について
- (2) 教育職員免許法改正に伴う検討課題について

## 第2回総合情報処理センター運営委員会（7月3日）

（審議事項）

- (1) 副センター長の選出について
- (2) 平成9年度運営費決算について
- (3) 平成9年度建物新営に伴う設備費（施設整備費）決算について
- (4) 平成10年度運営費予算(案)について
- (5) 対外接続線の廃止について
- (6) ダイアルアップ回線の変更について
- (7) その他

## 第1回保健管理センター運営委員会（7月14日）

（審議事項）

- (1) 平成10年度保健管理センター運営費予算(案)について
- (2) 平成10年度保健管理センター業務計画(案)について
- (3) その他

## 第2回学園ニュース編集委員会（7月14日）

（審議事項）

- (1) 富山大学学園ニュース編集委員会要項の改正について
- (2) 「学園ニュース」名称変更について
- (3) 今年度の編集方針について
- (4) 第97号の編集内容について

## 第4回事務協議会（7月16日）

（議 題）

当面の諸課題について

## 第5回部局長懇談会（7月17日）

（議 題）

- (1) 当面の諸問題について
- (2) その他

## 第5回評議会（7月17日）

（審議事項）

- (1) 富山大学人文学部規則の一部改正について
- (2) 富山大学将来計画委員会規則の改正について
- (3) 富山大学大学改革準備委員会規則の改正について
- (4) 富山大学自己点検評価規則の一部改正について
- (5) 富山大学懇談会設置要項の制定について
- (6) 外国人教員の任期について
- (7) その他

## 第3回入学試験委員会（7月24日）

（審議事項）

- (1) 平成11年度富山大学学生募集要項(案)について
- (2) 富山大学入学者選抜健康診断判定基準について
- (3) その他

## 第1回放射性同位元素委員会（7月24日）

（議 題）

- (1) 核燃料物質の取扱いについて
- (2) その他

## 第3回水素同位体機能研究センター運営委員会

（7月24日）

（議 題）

- (1) 平成9年度運営費決算書(案)について
- (2) 平成10年度運営費予算書(案)について
- (3) 受託研究の受入れについて
- (4) その他

## 第3回附属図書館商議会（7月28日）

## （審議事項）

- (1) 平成10年度学生用図書購入費等の予算執行について
- (2) 基本参考図書購入費の増額分の予算執行について
- (3) その他

## 第7回評議会（7月30日）

## （審議事項）

- (1) 富山大学将来計画委員会規則の改正について
- (2) 富山大学大学改革準備委員会規則の改正について
- (3) 富山大学懇談会設置要項の制定について
- (4) その他

## 第2回廃液処理施設運営委員会（7月28日）

## （審議事項）

- (1) 廃液処理施設運営委員会委員長の推薦について
- (2) 平成10年度廃液処理施設運営費予算について
- (3) その他

## 第2回留学生会館運営委員会（7月30日）

## （議 題）

- (1) 平成10年8月留学生会館入居者の選考について
- (2) その他



## 平成11年度 富山大学入学者選抜要項を公表

平成11年度入学者選抜要項を去る7月14日(火)に発表しました。昨年度との変更点及び入学者選抜要項の概要は、以下のとおりです。

### 昨年度との変更点

#### 1 一般選抜

##### (1) 実施方式及び実施日程について

日程は、国大協の平成11年度実施要領に基づく変更で、年月日（曜）の変更が主である。

- |                                     |                     |
|-------------------------------------|---------------------|
| ① 出願期間：平成11年1月25日(月)～2月3日(水)        | [昨年度1/26(月)～2/4(水)] |
| ② 検査期日：前期日程 平成11年2月25日(木)           | [昨年度2/25(木)]        |
| 後期日程 平成11年3月12日(金)                  | [昨年度3/12(木)]        |
| ③ 合格発表：前期日程 平成11年3月6日(土)の予定         | [昨年度3/6(金)]         |
| 後期日程 平成11年3月21日(日)の予定               | [昨年度3/20(金)]        |
| ④ 入学手続：前期日程 平成11年3月14日(日)、15日(月)の予定 | [昨年度3/13(金)、14(土)]  |
| 後期日程 平成11年3月27日(土)の予定               | [昨年度3/27(金)]        |

##### (2) 募集人員について

- ① 前期911人、後期315人、専門高校・総合学科卒業生選抜8人、特別選抜258人、計1,492人とした。  
[昨年度の確定募集人員 前期910人、後期319人、専門高校・総合学科卒業生選抜8人、特別選抜255人、計1,492人]

- ② 理学部、工学部の一部の学科で募集人員の見直しを行った。

##### (3) 入学者選抜方法等について

高等学校旧教育課程履修者に対する経過措置の取りやめにに基づき、選抜方法等から「旧教育課程履修者に対する経過措置を講ずる」の項目を削除した。

##### (4) 入学者選抜実施教科・科目等について

- ① 全 体：文部省入学者選抜実施要項の入学者選抜実施教科・科目等の発表様式の変更に基づき、様式を全面変更した。
- ② 人文学部：基本的に変更なし。
- ③ 教育学部：自然・生活系後期日程の面接にその内容を追加。
- ④ 経済学部：基本的に変更なし。
- ⑤ 理 学 部：数学科後期日程の個別学力検査を小論文から個別学力検査を課さないに変更。
- ⑥ 工 学 部：基本的に変更なし。

## 2 特別選抜

### (1) 実施日程について

- ① 出願期間：平成10年11月4日(水)～11日(水) [昨年度11/5(水)～12(水)]  
人文学部推薦入学(センター試験を課す)は、平成10年12月14日(月)～18日(金) [昨年度12/15(月)～19(金)]
- ② 検査期日：平成10年11月25日(水) [昨年度12/3(水)]  
人文学部推薦入学(センター試験を課す)は、平成11年1月20日(水) [昨年度1/21(水)]
- ③ 合格発表：平成10年12月4日(金)の予定 [昨年度12/12(金)]  
人文学部推薦入学(センター試験を課す)は、平成11年2月6日(土)の予定 [昨年度2/7(土)]
- ④ 入学手続：平成11年2月17日(水)の予定 [昨年度2/17(火)]

### (2) 募集人員について

- ① 理学部物理学科で推薦入学の募集人員増(6人→7人)
- ② 工学部知能情報工学科で推薦入学の募集人員増(13人→15人)

### (3) 入学者選抜方法等について

- ① 人文学部：基本的に変更なし。
- ② 教育学部：推薦入学の実技検査の内容を新たに記載(従来は9月末発表の募集要項で発表していた)。総合教育課程環境教育コース推薦入学の小論文から「小論文作成のための資料には英文が含まれます。」を削除。  
総合教育課程生涯スポーツコース推薦入学の面接にその内容を追加。
- ③ 経済学部：A推薦(職業教育を主とする学科以外の学科対象)への総合学科からの推薦人員を明記した。
- ④ 理 学 部：基本的に変更なし。
- ⑤ 工 学 部：推薦入学の専門高校卒に総合学科を加えた。

## 3 私費外国人留学生選抜

### (1) 実施日程について(一般選抜前期日程と同一日程で実施する。)

- ① 出願期間：平成11年1月25日(月)～2月3日(水) [昨年度1/26(月)～2/4(水)]
- ② 検査期日：平成11年2月25日(木) [昨年度2/25(木)]
- ③ 合格発表：平成11年3月6日(土)の予定 [昨年度3/6(金)]
- ④ 入学手続：平成11年3月14日(日), 15日(月)の予定 [昨年度3/13(金), 14(土)]

### (2) 出願資格

- ① 入学後に留学生とされるのは、「留学」の在留資格を持つ学生に限られることから、在留資格を明記した。
- ② 理学部への出願資格を日本語能力試験1級又は2級を受験した者とした。(他の学部は、従来どおり1級受験者のみ。)

### (3) 入学者選抜実施教科・科目等

基本的に変更なし。

## 4 その他

### (1) 身体に障害を有する入学志願者との事前相談について

文部省入学者選抜実施要項に基づき、従来の事前協議という表記を事前相談に変更した。

## 平成11年度 富山大学入学者選抜要項（抜粋）

## 1. 入学定員（募集人員）

学部	学科・課程等	入学定員	一般選抜募集人員		専門高校・ 総合高等学校 選抜 (前期日程)	特別選抜募集人員			備 考	
			前期日程	後期日程		推薦入学	帰国子女特別選抜	社会人特別選抜		
人文学部	人文学科	65	42	15		7	若干名	1		
	国際文化学科	50	32	12		5	若干名	1		
	言語文化学科	80	51	20		8	若干名	1		
	計	195	125	47		20	若干名	3		
教育学部	学校教育系 (教育学・学校心理学・幼児教育専攻)	35	25	10						
	障害児教育系 (障害児教育専攻)	10	7	3						
	言語・社会系 (国語教育・英語教育・社会科教育専攻)	35	25	10						
	自然・生活系 (数学教育・理科教育・技術教育・家政教育専攻)	40	26	11		3			推薦入学は、理科教育専攻のみ	
	芸術・体育系 (音楽教育・美術教育・保健体育専攻)	30	16	6		8			推薦入学は、音楽教育専攻2名、美術教育専攻3名、保健体育専攻3名	
	小 計	150	99	40		11				
	総合教育課程	情報教育コース	20	10	4		6			
		環境教育コース	10	4	3		3			
		生涯スポーツコース	10	4	3		3		若干名	
		小 計	40	18	10		12		若干名	
計	190	117	50		23		若干名			
経済学部	昼間主コース	経済学科	155	100	31		24	若干名		
		経営学科	120	76	24		20	若干名		
		経営法学科	100	64	20		16	若干名		
		小 計	375	240	75		60	若干名		
	夜間主コース	経済学科	20	2	4				14	
		経営学科	20	2	5				13	
		経営法学科	20	2	5				13	
小 計	60	6	14				40			
計	435	246	89		60	若干名	40			
理学部	数 学 科	52	29	7		15	若干名	1		
	物 理 学 科	42	27	7		7	若干名	1		
	化 学 科	38	29	8			若干名	1		
	生 物 学 科	38	25	6		5	若干名	2		
	地 球 科 学 科	40	29	9			若干名	2		
	生 物 圏 環 境 科 学 科	30	19	5		5	若干名	1		
	計	240	158	42		32	若干名	8		
工学部	電気電子システム工学科	93	57	19	2	14	若干名	1		
	知能情報工学科	86	51	17	2	15	若干名	1		
	機械知能システム工学科	98	60	20	2	15	若干名	1		
	物質生命システム工学科	155	97	31	2	24	若干名	1		
	計	432	265	87	8	68	若干名	4		
合 計	1,492	911	315	8	203	若干名	55			

2. 平成11年度富山大学入学者選抜方法等

(1) 一般選抜（前期日程）

選抜方法等 学部・学科名			個別学力検査等						専門高校・総合学科 卒業生選抜				個別学力検査等の日程	備 考 (欠員の補充の方法等)	
			実技検査等			2段階選抜			個別学力検査等		募集人員				
			実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する	調査書と面接による選抜を併用する	調査書と面接による選抜を併用する	調査書による選抜	面接による選抜	個別学力検査を課する	面接を行う			小論文を課する
人文学部	人文学科	国際文化学科	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	2月25日(木)	欠員補充の方法等は、9月下旬頃に発表予定の学生募集要項に記載する。  ※美術教育専攻の個別学力検査等の実技検査等については、実技検査又は小論文のうちいずれかを選択させる。
教育学部	学校教育系	教育学専攻	×	×	×	○	×								
		学校心理学専攻	×	×	×	○	×								
		幼児教育専攻	×	×	×	○	×								
	障害児教育系	障害児教育専攻	×	×	×	○	×								
		言語・社会系	国語教育専攻	○	×	×	×	×							
	自然・生活系	英語教育専攻	○	×	×	×	×								
		社会科教育専攻	○	×	×	×	×								
		数学教育専攻	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		理科教育専攻	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	芸術・体育系	技術教育専攻	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
家政教育専攻		○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
音楽教育専攻		×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
総合教育課程	※美術教育専攻	×	○	×	○	×	×								
	保健体育専攻	×	○	×	×	×	×								
	情報教育コース	○	×	×	×	×	×								
経済学部	環境教育コース	○	×	×	×	×	×								
	生涯スポーツコース	×	○	×	×	×	×								
	経済学専攻	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
理学部	経営学専攻	×	×	×	×	×	×								
	経営学専攻	×	×	×	×	×	×								
	経営学専攻	×	×	×	×	×	×								
工学部	数学専攻	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
	物理学専攻	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
	化学専攻	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
	生物学専攻	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
工学部	地球科学専攻	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
	生物圏環境科学専攻	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
	電気電子システム工学科	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×			
	知能情報工学科	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×			
工学部	機械知能システム工学科	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×			
	物質生命システム工学科	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×			

(注) 1. ○印は、当該検査等を課すること又は該当することを示す。  
 2. ×印は、当該検査等を課さないこと又は該当しないことを示す。  
 3. 調査書に㊤標示を希望する。(入学者選抜方法の研究資料として利用するため)

(2) 一般選抜（後期日程）

学部・学科名	選抜方法等		個別学力検査等					専門高校・総合学科卒業生選抜				個別学力検査等の日程	備考 (欠員の補充の方法等)		
	個別学力検査を課する	実技検査等	実技検査等			2段階選抜		個別学力検査を課する	実技検査等					募集人員	
			面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する	調査書の内容と一致する者	調成の第1行合格更新		第1段階の合格者数	面接を行う	小論文を課する				外国語におけるリスニングテストを課する
実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する	調査書の内容と一致する者	調成の第1行合格更新	第1段階の合格者数	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する						
人文学部	人文学科	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	3月12日(金)	欠員補充の方法等は、9月下旬頃に発表予定の学生募集要項に記載する。	
	国際文化学科	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×			
	言語文化学科	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×			
教育学部	学校教育系	教育学専攻	×	×	×	○	×								
		学校心理学専攻	×	×	×	○	×								
		幼児教育専攻	×	×	×	○	×								
	障害児教育系	障害児教育専攻	×	×	×	○	×								
		言語・社会系	国語教育専攻	×	×	×	○	×							
		英語教育専攻	×	×	×	○	×								
		社会科教育専攻	×	×	×	○	×								
	自然・生活系	数学教育専攻	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×			×
		理科教育専攻	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×			×
		技術教育専攻	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×			×
芸術・体育系	家政教育専攻	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×			
	音楽教育専攻	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
	美術教育専攻	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
	保健体育専攻	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
総合教育課程	情報教育コース	×	×	×	○	×									
	環境教育コース	×	×	×	○	×									
	生涯スポーツコース	×	○	×	×	×									
経済学部	昼間主コース	経済学科					×	×	×	×	×	×			
		経営学科	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
		経営法学科						×	×	×	×	×	×		
	夜間主コース	経済学科						×	×	×	×	×	×		
		経営法学科	○	×	×	×	×								
理学部	数学科	×	×	×	×	×									
	物理学科	×	×	×	○	×									
	化学科	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×			
	生物学科	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×			
	地球科学科	×	×	×	×	×									
	生物圏環境科学科	×	×	○	×	×									
工学部	電気電子システム工学科	×	×	×	×	×									
	知能情報工学科	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
	機械知能システム工学科	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
	物質生命システム工学科	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×			

- (注) 1. ○印は、当該検査等を課すこと又は該当することを示す。  
 2. ×印は、当該検査等を課さないこと又は該当しないことを示す。  
 3. 調査書に㊸標示を希望する。(入学者選抜方法の研究資料として利用するため)

(3) 特別選抜

選抜方法等			推 薦 入 学							帰国子女・社会人等のための特別選抜			備 考
			入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、学力検査を免除し調査書を主な資料として判定する							帰国子女	中国引揚者等子女	社会人	
学部・学科名	個別学力検査を免除し、大学入試センター試験を課する	個別学力検査及び大学入試センター試験を免除する	実技検査等				推薦入学募集人員	その他	帰国子女	中国引揚者等子女	社会人	備 考	
			実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	論文を課する							
文学部	人文学科							7人					
	国際文化学科	○	×	×	×	○	×	5人	○	×	○		
	言語文化学科							8人					
教育学部	学校教育系	教育学専攻	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		学校心理学専攻											
	障害児教育系	幼児教育専攻											
		障害児教育専攻	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	言語・社会系	国語教育専攻											
		英語教育専攻	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	自然・生活系	社会科教育専攻											
		数学教育専攻	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		理科教育専攻	×	○	×	○	○	×	3人	×	×	×	
		技術教育専攻	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
芸術・体育系	家政教育専攻	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
	音楽教育専攻							2人					
	美術教育専攻	×	○	○	×	×	×	3人	×	×	×		
総合課程	保健体育専攻							3人					
	情報教育コース	×	○	×	○	○	×	6人	×	×	×		
	環境教育コース	×	○	×	×	○	×	3人	×	×	×		
経済学部	昼間主コース	経済学科							12人				推薦入学について 各学科の募集人員欄中、上段は職業教育を主とする学科以外の学科を、また、下段は職業教育を主とする学科を対象とした募集人員をそれぞれ示す。
		経営学科	×	○	×	○	○	×	10人	○	×	×	
		経営法学科							10人				
	夜間主コース	経済学科							8人				
		経営学科	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	
		経営法学科							8人				
理学部	数学科	×	○	×	○	○	×	×	15人				
	物理学科	×	○	×	○	○	×	×	7人				
	化学科	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	
	生物学科	×	○	×	○	○	×	×	5人				
	地球科学科	×	×	×	×	×	×	×	×				
工学部	生物圏環境科学科	×	○	×	○	○	×	×	5人				
	電気電子システム工学科								9人			推薦入学について ① 面接には、基礎学力に関する試問を含む。 ② 各学科の募集人員欄中、上段は普通科・理数科を、また、下段は専門教育を主とする学科(工業)及び総合学科を対象とした募集人員をそれぞれ示す。	
	知能情報工学科								5人				
	機械知能システム工学科	×	○	×	○	○	×	×	9人	○	×		○
	物質生命システム工学科									6人			
									10人				

- (注) 1. ○印は、当該検査等を課すこと又は該当することを示す。  
 2. ×印は、当該検査等を課さないこと又は該当しないことを示す。  
 3. 調査書に㊤標示を希望する。(入学者選抜方法の研究資料として利用するため)

3. 平成11年度富山大学入学者選抜の実施教科・科目等

学部・学科等 及び (志願倍率)	学力検査 の 区分・ 日程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										特別の選 抜方法等						
		科目	科目名	科目	科目名	試験の区分	国語	歴史	公民	数学	理科	外国語	工業 数理	小論文	実技		面接	配 点 計				
人文学部 6.4 195人 前期125 後期47 その他23	前期 2月25 日 後期 3月12 日	国 地歴 公民 数 理 外	国Ⅰ・国Ⅱ 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経 数Ⅰ・数A, 数Ⅱ, 数Ⅲ・数B, 工, 簿, 情報から1 総理, 物A, 物B, 化A, 化B, 生A, 生B, 地字A, 地字Bから1 英, 独, 仏, 中から1 〔5教科5科目〕	国 外	国Ⅰ・国Ⅱ 英Ⅰ・リーディング, ドイツ語, フランス語, 朝鮮語, 中国語, ロシア語から1	センター試験	100	100	100	100	100	100	100	100				500	推薦 外国人 追加合格			
						個別学力検査	200															400
						計	300	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100				
国際文化学科 50人 前期32 後期12 その他6	前期 2月25 日 後期 3月12 日	国 地歴 公民 数 理 外	国Ⅰ・国Ⅱ 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経 数Ⅰ・数A, 数Ⅱ, 数Ⅲ・数B, 工, 簿, 情報から1 総理, 物A, 物B, 化A, 化B, 生A, 生B, 地字A, 地字Bから1 英, 独, 仏, 中から1 〔5教科5科目〕	国 外	国Ⅰ・国Ⅱ 英Ⅰ・リーディング, ドイツ語, フランス語, 朝鮮語, 中国語, ロシア語から1	センター試験	100	100	100	100	100	100	100				500	推薦 外国人 追加合格				
						個別学力検査	200															400
						計	300	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100					900
言語文化学科 80人 前期51 後期20 その他9	前期 2月25 日 後期 3月12 日	国 地歴 公民 数 理 外	国Ⅰ・国Ⅱ 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経 数Ⅰ・数A, 数Ⅱ, 数Ⅲ・数B, 工, 簿, 情報から1 総理, 物A, 物B, 化A, 化B, 生A, 生B, 地字A, 地字Bから1 英, 独, 仏, 中から1 〔5教科5科目〕	国 外	国Ⅰ・国Ⅱ 英Ⅰ・リーディング, ドイツ語, フランス語, 朝鮮語, 中国語, ロシア語から1	センター試験	100	100	100	100	100	100	100				500	推薦 外国人 追加合格				
						個別学力検査	200															400
						計	300	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100					900
学校教育系 35人 前期25 後期10	前期 2月25 日 後期 3月12 日	国 地歴 公民 数 理 外	国Ⅰ・国Ⅱ 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報から1 総理, 物B, 化B, 生B, 地字Bから1 英, 独, 仏, 中から1 〔5教科5科目〕	種 他	小論文 (教育問題と一般常識に関するもの)	センター試験	200	100	100	200	200	200	200				800	外国人 追加合格				
						個別学力検査	200															200
						計	400	100	100	200	200	200	200	200	200	200	200					1000
障害児教育系 10人 前期7 後期3	前期 2月25 日 後期 3月12 日	国 地歴 公民 数 理 外	国Ⅰ・国Ⅱ 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報から1 総理, 物B, 化B, 生B, 地字Bから1 英, 独, 仏, 中から1 〔5教科5科目〕	種 他	小論文 (教育問題と一般常識に関するもの)	センター試験	200	100	100	200	200	200	200				800	外国人 追加合格				
						個別学力検査	200															200
						計	400	100	100	200	200	200	200	200	200	200	200					1000

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄  
 教育学科において「地理」のA科目を選択できる者は、高等学校においてA科目を履修した者に限る。  
 選択科目である数Ⅲ・科目において多数の教科・科目を受験している場合は、高得点の教科・科目を利用する。  
 【大学入試センター試験・個別学力検査の配点等】欄  
 配点に黒印を付している教科は選択教科を表す。

生 1 科

学部・学科等名 及 （志願倍率）	学力検査等の 区分・日程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										特別の選 抜方法等	
		教科	科目名	教科等	科目名	試験の区分	国語	歴史	公民	数学	理科	外国語	工業	実技	面接		配 点 計
言語・社 会系 35人 前期25 後期10 学校教育 教員養成課程	前期 2月25 日	国語	国Ⅰ・国Ⅱ 世A, 世B, 日A, B, 地理A, ]から1	国 数 英 外	国Ⅰ・国Ⅱ・現文・古Ⅰ 数Ⅰ・数Ⅱ・数A*(注1)]から1 英Ⅱ・リーディング	センター試験	200	100	100	200	100	200				800	外国人 追加合格
		公民 数 理 外	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B, 工, 簿 総理, 物B, 化B, B, 地字Bから1 英, 独, 仏, 中から [5教科6科目]			個別学力検査	兼400		兼400		兼400						
	後期 3月12 日	国 地 理 外	国Ⅰ・国Ⅱ 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, ]から1	他 小論文		センター試験	300	100	100		200					600	外国人 追加合格
		公民 外	地理B 現社, 倫, 政経 英, 独, 仏, 中から1 [3教科3科目]		個別学力検査								200			200	
	前期 2月25 日	英語 教育専攻	国Ⅰ・国Ⅱ 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, ]から1	国 数 英 外	国Ⅰ・国Ⅱ・現文・古Ⅰ 数Ⅰ・数Ⅱ・数A*(注1)]から1 英Ⅱ・リーディング	センター試験	200	100	100	200	100	200				800	外国人 追加合格
		公民 数 理 外	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報から1 総理, 物B, 化B, 左B, 地字Bから1 英, 独, 仏, 中から1 [5教科6科目]		個別学力検査	兼400		兼400		兼400						400	
	後期 3月12 日	国 地 理 外	国Ⅰ・国Ⅱ 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, ]から1	他 小論文		センター試験	200	100	100		300					600	外国人 追加合格
		公民 外	地理B 現社, 倫, 政経 英, 独, 仏, 中から1 [3教科3科目]		個別学力検査								200			200	
	前期 2月25 日	社会 科教育専攻	国Ⅰ・国Ⅱ 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, ]から1	国 数 英 外	国Ⅰ・国Ⅱ・現文・古Ⅰ 数Ⅰ・数Ⅱ・数A*(注1)]から1 英Ⅱ・リーディング	センター試験	200	100	100	200	100	200				800	外国人 追加合格
		公民 数 理 外	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報から1 総理, 物B, 化B, 左B, 地字Bから1 英, 独, 仏, 中から1 [5教科6科目]		個別学力検査	兼400		兼400		兼400						400	
	後期 3月12 日	国 地 理 外	国Ⅰ・国Ⅱ 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, ]から1	他 小論文		センター試験	100	300	300		200					600	外国人 追加合格
		公民 外	地理B 現社, 倫, 政経 英, 独, 仏, 中から1 [3教科3科目]		個別学力検査								200			200	

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄  
 教育専攻において「地理」のA科目を選択できる者は、高等学校においてA科目を履修した者に限る。  
 【個別学力検査等】欄  
 【(注1)数A\*は、「数と式」を出題範囲とする。  
 【大学入試センター試験・科目名】欄  
 配点に兼用してある教科は選択教科を表す。

学部・学定員等 及び(平成10年度) 志願倍率	学 科 等 名 自然・生活系 40人 前期26 後期11 初他3	学力検査 区分・ 日程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等							特別の選 抜方法等						
			教科	科目名	科目名	等	2段階 選抜	試験の区分	国語	地理	公民	数学	理科		外国語	工業 数	小論文	実技	面接	配点 合計
教育学部	自然・生活系 40人 前期26 後期11 初他3	前期 2月25 日	国 地歴 公民 数 理外	国Ⅰ・国Ⅱ 世A、世B、日A、日B、地理A、 地理B、倫、政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B、化B、生B、地字Bから1 英、独、仏、中から1 〔5教科6科目〕	数Ⅰ・数Ⅱ、数A*(注1)Jから1 英Ⅱ・リーディング	センター試験 個別学力検査 計	200 200 200	※100 ※100 ※100	※100 ※100 ※100	200 200 200	100 100 100	200 200 200	200 200 200					800 200 1000	推薦 (中・理科のみ) 外国人 追加合格	
		後期 3月12 日	数 理外	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B、工、簿、情報から1 総理、物B、生B、地字Bから1 英、独、仏、中から1 〔3教科4科目〕	面接(各専攻ごとに知識・思考力を問う 内容を合んで行う)	センター試験 個別学力検査 計	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200	200 200 200					600 200 800		
		前期 2月25 日	国 地歴 公民 数 理外	国Ⅰ・国Ⅱ 世A、世B、日A、日B、地理A、 地理B、倫、政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B、化B、生B、地字Bから1 英、独、仏、中から1 〔5教科6科目〕	志望専攻の実技	センター試験 個別学力検査 計	200 200 200	※100 ※100 ※100	※100 ※100 ※100	200 200 200	100 100 100	200 200 200	200 200 200	200 200 200					800 200 1000	推薦 外国人 追加合格
芸術・体 育系	30人 前期16 後期6 初他8	後期 3月12 日	国 地歴 公民 数 理外	国Ⅰ・国Ⅱ 世A、世B、日A、日B、地理A、 地理B、倫、政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B、化B、生B、地字B から1 英、独、仏、中から1 〔3教科3科目〕	志望専攻の実技	センター試験 個別学力検査 計	200 200 200	※100 ※100 ※100	※100 ※100 ※100	200 200 200	100 100 100	200 200 200	200 200 200					500 500 1000		
		前期 2月25 日	国 地歴 公民 数 理外	国Ⅰ・国Ⅱ 世A、世B、日A、日B、地理A、 地理B、倫、政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B、化B、生B、地字Bから1 英、独、仏、中から1 〔5教科6科目〕	実技又は小論文	センター試験 個別学力検査 計	200 200 200	※100 ※100 ※100	※100 ※100 ※100	200 200 200	100 100 100	200 200 200	200 200 200	※200 ※200 ※200					800 200 1000	推薦 外国人 追加合格
		後期 3月12 日	国 地歴 公民 数 理外	国Ⅰ・国Ⅱ 世A、世B、日A、日B、地理A、 地理B、倫、政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B、化B、生B、地字B から1 英、独、仏、中から1 〔3教科3科目〕	実技	センター試験 個別学力検査 計	200 200 200	※100 ※100 ※100	※100 ※100 ※100	200 200 200	100 100 100	200 200 200	200 200 200	500 500 500					500 500 1000	

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄  
 教育学部において「地歴」のA科目を満点取得できる者は、高等学校においてA科目を履修した者に限る。  
 選抜専攻である教科・科目において、複数の教科・科目を受験している場合は、高得点の教科・科目を利用する。  
 【個別学力検査等】欄  
 (注1)数A\*は、「数と式」を出題範囲とする。  
 【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄  
 配点に※印を付したる教科は選択教科を表す。

学部・学科等名 及び入学定員等 (平成10年度 志願倍率)	学力検査 区分・ 日程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										特別の選 抜方法等						
		教科	科目名	科目	科目名	試験の区分	国語	地理	歴史	公民	数学	理科	外国語	工業	英語		小論文	実技	面接	配点	合計	
																						教科等
教育学部 総合教育コース 20人 前期10 後期4 初他6	前期 2月25 日	国 地理	国Ⅰ・国Ⅱ 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, ]から1	数 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数A*(注1)ーから1 英Ⅱ・リーディング	センター試験	200	※100	※100	※100	200	100	200							800		推薦 外国人 追加合格
	後期 3月12 日	公民 数 理 外	数Ⅰ・数A 総理, 物B, 化B, 生B, 地字Bから1 英, 独, 仏, 中から1 [5教科6科目]	種他 小論文		センター試験 個別学力検査	200	※100	※100	※100	200	100	200		400					800	400	
環境教育コース 10人 前期4 後期3 初他3	前期 2月25 日	国 地理	国Ⅰ・国Ⅱ 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, ]から1	国 数 外	国Ⅰ・数Ⅱ・数A*(注1)ーから1 英Ⅱ・リーディング	センター試験	200	※100	※100	※100	200	100	200							800		推薦 外国人 追加合格
	後期 3月12 日	公民 数 理 外	数Ⅰ・数A 総理, 物B, 化B, 生B, 地字Bから1 英, 独, 仏, 中から1 [5教科6科目]	種他 小論文		センター試験 個別学力検査	200	※100	※100	※100	200	100	200		400					800	200	
生涯スポーツ コース 10人 前期4 後期3 初他3	前期 2月25 日	国 地理	国Ⅰ・国Ⅱ 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, ]から1	種他 体育実技		センター試験	200	※100	※100	※100	200	100	200							800		推薦 社会人 外国人 追加合格
	後期 3月12 日	公民 数 理 外	数Ⅰ・数A 総理, 物B, 化B, 生B, 地字Bから1 英, 独, 仏, 中から1 [5教科6科目]	種他 体育実技		センター試験 個別学力検査	200	※100	※100	※100	200	100	200		400					800	200	
		国 外	国Ⅰ・国Ⅱ 英, 独, 仏, 中から1 [2教科2科目]	種他 体育実技		センター試験 個別学力検査	200													400	400	

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄  
 教育学部において、「地理」のA科目を選択できる者は、高等学校においてA科目を履修した者に限る。  
 【個別学力検査等】欄  
 選択解答できる教科・科目において、複数の教科・科目を受験している場合は、高得点の教科・科目を利用する。  
 【(注1)数A\*】は、「数と式」を出題範囲とする。  
 【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄  
 配点に※印を付したる教科は選択教科を表す。



学部・学科名 及び 学年(年度) (志願希望)	学力検査 の 区分 日程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										特別の選 抜方法等			
		教科	科目	科目名	等	2段階 選抜	試験の区分	国語	歴史	公民	数学	理科	外国語	工業 数理	小論文		実技	面接	配 点 合 計
経済学部 夜間 4.0 60人 前期 6 後期 14 その他 40	前期 2月25 日	国 地歴 公民 数 理 外	国Ⅰ・国Ⅱ 世B, 日B, 地理B }から1 現社, 倫, 政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報から1 総理, 物A, 物B, 化A, 化B, 生A, 生B, 地字A, 地字Bから1 英, 独, 仏, 中から1 〔5教科6科目〕	個別学力検査は課さない	等	センター試験 個別学力検査 計	200	※ 100	※ 100	200	100	200	200					800	社会人 追加合格
							200	※ 100	※ 100	200	100	200							
経済学部 20人 前期 2 後期 5 その他 13	後期 3月12 日	国 地歴 公民 数 理 外	国Ⅰ・国Ⅱ 世B, 日B, 地理B }から1 現社, 倫, 政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報から1 総理, 物A, 物B, 化A, 化B, 生A, 生B, 地字A, 地字Bから1 英, 独, 仏, 中から1 〔3教科3科目〕	個別学力検査は課さない	外	センター試験 個別学力検査 計	200	※ 100	※ 100	※ 100	200	200						500	社会人 追加合格
							200	※ 100	※ 100	200	100	200							
経済法学科 20人 前期 2 後期 5 その他 13	前期 2月25 日	国 地歴 公民 数 理 外	国Ⅰ・国Ⅱ 世B, 日B, 地理B }から1 現社, 倫, 政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報から1 総理, 物A, 物B, 化A, 化B, 生A, 生B, 地字A, 地字Bから1 英, 独, 仏, 中から1 〔5教科6科目〕	個別学力検査は課さない	外	センター試験 個別学力検査 計	200	※ 100	※ 100	※ 100	200	200						500	社会人 追加合格
							200	※ 100	※ 100	200	100	200							
経済法学科 20人 前期 2 後期 5 その他 13	後期 3月12 日	国 地歴 公民 数 理 外	国Ⅰ・国Ⅱ 世B, 日B, 地理B }から1 現社, 倫, 政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報から1 総理, 物A, 物B, 化A, 化B, 生A, 生B, 地字A, 地字Bから1 英, 独, 仏, 中から1 〔3教科3科目〕	個別学力検査は課さない	外	センター試験 個別学力検査 計	200	※ 100	※ 100	※ 100	200	200						500	社会人 追加合格
							200	※ 100	※ 100	200	100	200							

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄  
「情報関係基礎」を選択可能な者は、高等学校においてこれらの科目を履修した者及び文部大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限る。  
「簿記」を選択可能な教科・科目において、複数の教科・科目を受験している場合は、高得点の教科・科目を利用する。  
【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄  
配点に集中を付してある教科は選択教科を表す。

学部・学科等名 及び入学定員等 (平成10年度) (志願倍率)	学力検査等の 区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										特別の選 抜方法等			
		教科	科目名	科目名	等	2段階 選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	工業 数理	小論文		美術	面接	配 点 合 計
理学部 3,8 (3.7) 52人 前期 29 後期 7 前期 158 後期 42 その他 16 その他 40	前期 2月25 日 後期 3月12 日	国 数 理 外	国Ⅰ・国Ⅱ 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物B, 化B, 生B, 地学Bから1 英, 独, 仏, 中から1 〔4教科5科目〕	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A**・ 数B*** (注1)	等		センター試験	100			100	100	200					500	推薦 韓国子女 社会人 外国人 追加合格
							個別学力検査			500									
							計	100			600	100	200					1000	
							センター試験	200			300	200	300					1000	
							個別学力検査												
							計	200			300	200	300					1000	
物理学科 42人 前期 27 後期 7 その他 8	前期 2月25 日 後期 3月12 日	国 地歴 公民 数 理 外	国Ⅰ・国Ⅱ 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物B, 化B, 生B, 地学Bから1 英, 独, 仏, 中から1 〔5教科6科目〕	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A* (注1) 物B・物Ⅱ	等		センター試験	200	※ 100	※ 100	200	100	200					800	推薦 韓国子女 社会人 外国人 追加合格
							個別学力検査			200	400								
							計	200	※ 100	※ 100	400	500	200					1400	
							センター試験	200	※ 100	※ 100	400	200	200					1100	
							個別学力検査								200			200	
							計	200	※ 100	※ 100	400	200	200		200			1300	
化学科 38人 前期 29 後期 8 その他 1	前期 2月25 日 後期 3月12 日	国 数 理 外	国Ⅰ・国Ⅱ 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物B, 化B, 生B, 地学Bから1 英, 独, 仏, 中から1 〔4教科5科目〕	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A* (注1) 化B・化Ⅱ	等		センター試験	200			200	100	200					700	韓国子女 社会人 外国人 追加合格
							個別学力検査			200	200								
							計	200			400	300	200					1100	
							センター試験				200	200	200					600	
							個別学力検査								400			400	
							計				200	200	200		400			1000	

【学部・学科等名及び入学定員等】欄  
 ( ) 内の志願倍率は、欠員補充第2次募集を除いた志願倍率を表す。  
 【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄  
 選択解答できる教科・科目において、複数の教科・科目を受験している場合は、高得点の教科・科目・科目名を利用する。  
 【個別学力検査等】欄  
 (注1) 数A\*は、「数と式」、数A\*\*は、「数と式」「数列」、数B\*\*\*は、「ベクトル」「複素数と複素数平面」を出題範囲とする。  
 【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄  
 配点に※を付してある教科は選択教科を表す。

学部・学科等名 及び入学定員等 (平成10年度) (志願倍率)	学力検査等の 区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名			個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										特別の選 抜方法等					
		教科	科目名	等	教科等	科目名	等	試験の区分	国語	歴史	公民	数学	理科	外国語	工業	理数		小論文	実技	面接	配点	合計
理学部 生物学科 38人 前期25 後期6 その他7	前期 2月25日	国 数 理 外	国Ⅰ・国Ⅱ 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, } 地理B } 公民 現社, 倫, 教経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物B, 化B, 生B, 地学Bから1 英, 独, 仏, 中から1 [5教科6科目]	等	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A* (注1) 物B・物Ⅱ・化B・化Ⅱ, 生B・生Ⅱ, 地学B・地学Ⅱから1	センター試験	200	※100	※100	200	100	200	200							800	推薦 帰国子女 社会人 外国人 追加合格
								個別学力検査														
					計		200	※100	※100	400	400	200	200							1300		
地球科学科 40人 前期29 後期9 その他2	後期 3月12日	国 数 理 外	国Ⅰ・国Ⅱ 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物B, 化B, 生B, 地学Bから1 英, 独, 仏, 中から1 [4教科5科目]	等	理 外	面 接 (生物に関する内容を含む)	センター試験	200			200	200								800		
								個別学力検査														
					計		200			200	200								200	1000		
生物圏環境科学科 30人 前期19 後期5 その他6	前期 2月25日	国 数 理 外	国Ⅰ・国Ⅱ 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物B, 化B, 生B, 地学Bから1 英, 独, 仏, 中から1 [4教科5科目]	等	理 外	個別学力検査は課さない	センター試験					300	200							500		
								個別学力検査														
					計						300	200							500			
生物圏環境科学科 30人 前期19 後期5 その他6	後期 3月12日	国 数 理 外	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物B, 化B, 生B, 地学Bから1 英, 独, 仏, 中から1 [3教科4科目]	等	理 外	面 接 (科学的な思考力を問う内容を含む)	センター試験	100			200	200	200							700	推薦 帰国子女 社会人 外国人 追加合格	
								個別学力検査														
					計		100			400	400	200							1100			
					計					200	300	200							700			
					計					200	300	200							300	300		
					計					200	300	200							300	1000		

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄  
 【個別学力検査等】欄  
 【選抜解答できる教科・科目】欄において、複数の教科・科目を受験している場合は、高得点の教科・科目を優先して記載する。  
 (注1) 数A\*は、「数と式」を出題範囲とする。  
 【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄  
 配点に※印を付している教科は選択教科を要す。

学部・学科等名 及び入学定員等 (平成10年度) 志願倍率	学力検査等の 区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										特別の選抜方法等		
		教科	科目	科目名等	2段階選抜	試験の区分	国語	歴史	公民	数学	理科	外国語	工業数理	小論文	実技		面接	配点合計
工学部 4.1 432人 前期265 後期87 専門・総合8 その他72	前期 2月25日 後期 3月12日	国 数 理 外	国Ⅰ・国Ⅱ 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B、工、機、情報から1 総理、物B、化B、生B、地学Bから1 英、独、仏、中から1 〔4教科5科目〕	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A* (注1) 物B・物Ⅱ  個別学力検査を課さない		センター試験	100			100	100	200					500	推薦 帰国子女 社会人 外国人 追加合格
						個別学力検査												
工学部 4.1 432人 前期265 後期87 専門・総合8 その他72	専門高 校・総合 合学科 卒業生 選抜 2月25日	国 数 理 外	国Ⅰ・国Ⅱ 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B、工、機、情報から1 総理、物Bから1 英、独、仏、中から1 〔4教科5科目〕	工業 工業数理		センター試験	100			100	200	100					500	推薦 帰国子女 社会人 外国人 追加合格
						個別学力検査										300		
工学部 4.1 432人 前期265 後期87 専門・総合8 その他72	前期 2月25日 後期 3月12日	国 数 理 外	国Ⅰ・国Ⅱ 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B、工、機、情報から1 総理、物B、化B、生B、地学Bから1 英、独、仏、中から1 〔4教科5科目〕	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A* (注1) 物B・物Ⅱ  個別学力検査を課さない		センター試験	100			200	100	200					600	推薦 帰国子女 社会人 外国人 追加合格
						個別学力検査												
工学部 4.1 432人 前期265 後期87 専門・総合8 その他72	専門高 校・総合 合学科 卒業生 選抜 2月25日	国 数 理	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B、工、機、情報から1 総理、物A、物B、化A、化B、 生A、生B、地学A、地学Bから1 〔2教科2科目〕	工業 工業数理		センター試験				100	100						200	推薦 帰国子女 社会人 外国人 追加合格
						個別学力検査												

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】 前期において、「工業数理」、「簿記」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校においてこれらの科目を履修した者及び文部大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限る。

【個別学力検査等】 前期において、「工業数理」、「簿記」、「情報関係基礎」を選択解答できる教科・科目において、満点の教科・科目を受験している場合は、高得点の教科・科目を利用する。

（注1）数A\*は、「数と式」を出題範囲とする。

学部・学科名 及び入学定員等 (志願倍率)	学力検査等の 区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										特別の選 抜方法等		
		教科	科目名	教科等	科目名	国語	歴史	公民	数学	理科	外国語	工業 数	工業 理	小論文	実技		面接	配点 合計
工学部 機械知能システム 工学科 98人 前期 60 後期 20 専門、 総合、2 その他 16	前期 2月25 日	国・国Ⅱ 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B、工、簿、情報から1 総理、物Bから1	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A* (注1) 物B・物Ⅱ	100				100	100	200							500	推薦 外国人 外国人 追加合格
	後期 3月12 日	英、独、仏、中から1 [4教科5科目]	個別学力検査は課さない															
工学部 物質生命システム 工学科 155人 前期 97 後期 31 専門、 総合、2 その他 25	前期 2月25 日	国・国Ⅱ 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B、工、簿、情報から1 総理、物Bから1	工業 工業数理	100					100	100							400	推薦 外国人 外国人 追加合格
	後期 3月12 日	英、独、仏、中から1 [4教科5科目]	工業 工業数理									400					400	
工学部 機械知能システム 工学科 98人 前期 60 後期 20 専門、 総合、2 その他 16	前期 2月25 日	国・国Ⅱ 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B、工、簿、情報から1 総理、物Bから1	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A* (注1) 物B・物Ⅱ、化B・化Ⅱから1	100					100	100							500	推薦 外国人 外国人 追加合格
	後期 3月12 日	英、独、仏、中から1 [4教科5科目]	面接												200	200	900	
工学部 物質生命システム 工学科 155人 前期 97 後期 31 専門、 総合、2 その他 25	前期 2月25 日	国・国Ⅱ 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B、工、簿、情報から1 総理、物Bから1	工業 工業数理	100					100	100							400	推薦 外国人 外国人 追加合格
	後期 3月12 日	英、独、仏、中から1 [4教科5科目]	工業 工業数理									400					400	

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】 関  
工学部において、「工業数理」を「簿記」。「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校においてこれらの科目を履修した者及び文部大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限る。  
選択解答できる教科・科目において、複数の教科・科目を受験している場合は、高得点の教科・科目を利用する。  
【個別学力検査等】 関  
(注1) 数A\*は、「数と式」を出題範囲とする。

## 専門高校・総合学科卒業生選抜

実施学部・学科	工学部…………… 電気電子システム工学科・知能情報工学科 機械知能システム工学科・物質生命システム工学科												
募集人員	各学科 2人(定員内)												
選抜期日	平成11年2月25日(木)												
選抜方法	<p>入学者の選抜は、大学入試センター試験の成績と個別学力検査として実施する工業に関する科目の成績及び出願書類を総合して行う。</p> <p>○大学入試センター試験の受験を要する教科・科目</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学 科</th> <th>受験を要する教科・科目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電気電子システム工学科 機械知能システム工学科</td> <td>[4教科5科目] 国〔国Ⅰ・国Ⅱ〕 数〔「数Ⅰ・数A」と「数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報から1」〕 理〔総理, 物Bから1〕 外〔英, 独, 仏, 中から1〕</td> </tr> <tr> <td>知能情報工学科</td> <td>[2教科2科目] 数〔数Ⅰ・数A, 数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報から1〕 理〔総理, 物A, 物B, 化A, 化B, 生A, 生B, 地学A, 地学Bから1〕</td> </tr> <tr> <td>物質生命システム工学科</td> <td>[4教科5科目] 国〔国Ⅰ・国Ⅱ〕 数〔「数Ⅰ・数A」と「数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報から1」〕 理〔物B, 化Bから1〕 外〔英, 独, 仏, 中から1〕</td> </tr> </tbody> </table> <p>○個別学力検査の実施教科・科目</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学 科</th> <th>個別学力検査において課す工業に関する科目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電気電子システム工学科 知能情報工学科 機械知能システム工学科 物質生命システム工学科</td> <td>工業(工業数理)</td> </tr> </tbody> </table>	学 科	受験を要する教科・科目	電気電子システム工学科 機械知能システム工学科	[4教科5科目] 国〔国Ⅰ・国Ⅱ〕 数〔「数Ⅰ・数A」と「数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報から1」〕 理〔総理, 物Bから1〕 外〔英, 独, 仏, 中から1〕	知能情報工学科	[2教科2科目] 数〔数Ⅰ・数A, 数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報から1〕 理〔総理, 物A, 物B, 化A, 化B, 生A, 生B, 地学A, 地学Bから1〕	物質生命システム工学科	[4教科5科目] 国〔国Ⅰ・国Ⅱ〕 数〔「数Ⅰ・数A」と「数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報から1」〕 理〔物B, 化Bから1〕 外〔英, 独, 仏, 中から1〕	学 科	個別学力検査において課す工業に関する科目	電気電子システム工学科 知能情報工学科 機械知能システム工学科 物質生命システム工学科	工業(工業数理)
学 科	受験を要する教科・科目												
電気電子システム工学科 機械知能システム工学科	[4教科5科目] 国〔国Ⅰ・国Ⅱ〕 数〔「数Ⅰ・数A」と「数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報から1」〕 理〔総理, 物Bから1〕 外〔英, 独, 仏, 中から1〕												
知能情報工学科	[2教科2科目] 数〔数Ⅰ・数A, 数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報から1〕 理〔総理, 物A, 物B, 化A, 化B, 生A, 生B, 地学A, 地学Bから1〕												
物質生命システム工学科	[4教科5科目] 国〔国Ⅰ・国Ⅱ〕 数〔「数Ⅰ・数A」と「数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報から1」〕 理〔物B, 化Bから1〕 外〔英, 独, 仏, 中から1〕												
学 科	個別学力検査において課す工業に関する科目												
電気電子システム工学科 知能情報工学科 機械知能システム工学科 物質生命システム工学科	工業(工業数理)												
出願期間	平成11年1月25日(月)から平成11年2月3日(水)(必着)												
出願要件	高等学校の工業に関する学科又は総合学科で職業教育に関する教科・科目を履修し卒業した者及び平成11年3月卒業見込みの者												
その他													

# 人 事 異 動

異動区分	発令年月日	氏 名	異動前の所属官職	異 動 内 容
採 用	10. 7. 6	小 山 博 子		教務職員 工学部(物質生命システム工学科材料工学)
	〃	渡 邊 美 佳		教務補佐員(人文学部・理学部化学科)
	〃	西 塚 麗 子		事務補佐員(教育学部理科教室)
	〃	中 西 義 夫		臨時用務員(教育学部作業員)
	〃	館 野 洋 子		〃 (教育学部附属学校作業員)
	〃	柳 井 瑠 美 子		事務補佐員(電気電子システム工学科電気システム工学)
	10. 7. 13	増 川 吏 英 子		事務補佐員(経理部主計課司計係)
	10. 8. 1	波 多 野 正 俊		助手 工学部(機械知能システム工学科機械制御情報工学)
臨時的任用	10. 7. 17	平 野 砂 都 美		教育学部庶務係(～11. 3. 31)
辞 職	10. 7. 16	平 野 砂 都 美	事務補佐員(教育学部庶務係)	辞 職
	10. 7. 27	尾 島 十 郎	教 授 理学部(化学科合成有機化学)	〃
	10. 7. 31	木 川 栄 一	助教授 教育学部(環境教育)	〃
退 職	10. 7. 3	小 山 博 子	助 手 経済学部(経済学科政策科学)	平成10年7月2日限り任期満了により退職
	10. 7. 25	近 藤 俊 彦	事務補佐員(附属図書館情報サービス課情報サービス係)	平成10年7月24日限り退職
	〃	高 山 恭 一	〃 ( 〃 )	〃
	〃	油 井 晶 代	〃 ( 〃 )	〃
	〃	熊 谷 さ お り	〃 ( 〃 )	〃
	〃	島 先 厚 至	〃 ( 〃 )	〃
	〃	大 橋 正 浩	〃 ( 〃 )	〃
	〃	中 根 一 剛	〃 ( 〃 )	〃
	〃	加 藤 奏	〃 ( 〃 )	〃
	10. 8. 1	渡 邊 美 佳	教務補佐員(人文学部・理学部化学科)	平成10年7月31日限り退職
育児休業	10. 7. 3	織 田 松 美	助 手 経済学部(経済学科政策科学)	職務復帰
	10. 7. 17	岡 元 祐 里 子	教育学部庶務係	育児休業(～11. 3. 31)

# 学 内 諸 報

## 次期経済学部長に古田教授を選出



丹羽昇経済学部長の任期が平成10年9月29日に満了することに伴い、経済学部教授会は、去る7月15日(水)及び16日(木)に次期学部長候補者の選挙を行いました。

その結果、古田俊吉教授が選出されました。任期は、平成10年9

月30日から2年間。

古田教授は、昭和45年3月富山大学経済学部卒業、同47年3月神戸商科大学大学院経済学研究科修士課程修了、同50年3月神戸商科大学大学院経済学研究科博士後期課程を単位取得退学後、同50年4月長崎県立国際経済大学講師、同54年4月同助教授を経て、同58年4月富山大学経済学部助教授に採用となり、平成3年8月同教授に昇

任、同9年8月から評議員を併任され現在に至っています。

専門は、財政学。

富山県出身。

(就任の抱負)

国際化、情報化、金融自由化、雇用関係の変化、さらに少子化、生涯学習化など、社会経済環境や大学を取り巻く環境が大きく変化しています。

こうした環境の変化に適切に対処していくためには、

教育や研究においてこれまで以上に柔軟な発想と姿勢が求められるといえます。

しかし、直面している諸課題に対する明確な指針や方策となると甚だ心許ない次第です。この点に関しましては、教職員の皆様から様々なアイデアや知恵を授けていただきながら、一つ一つ着実に解決していく以外にないと思っております。

皆様のより一層のご指導とご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

## 大学構内（五福地区）の一斉清掃を実施

—— 教職員・学生が一体となって五福キャンパス一斉清掃を実施 ——

本学では、「教育研究の場にふさわしい学園環境の維持」を目的に、毎年五福キャンパスの一斉清掃を2回程実施していますが、今年第1回目を去る7月2日(木)15時から1時間余り実施しました。

当日は、午前中小雨が降りましたが、午後からは最高気温が33.2℃となる猛暑の中、時澤学長、水上事務局長をはじめ、教職員、学生約380人が一体となり、キャンパス内の空き缶、紙くず拾い、溝の清掃、除草等に心地良い汗を流しました。

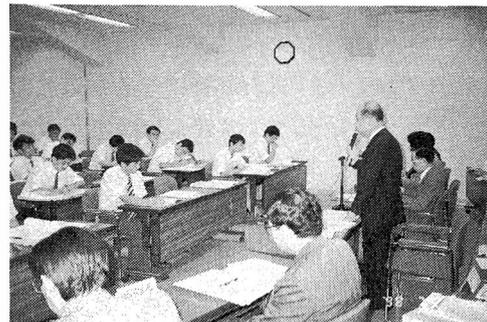


▲猛暑の中、汗しながら除草を行う職員

## 「高等学校（進路指導担当教諭）との懇談会」を開催

去る7月21日(火)に『平成10年度高等学校と富山大学との入学試験に関する懇談会』を黒田講堂において開催しました。

この懇談会は、本学の入試内容や教育内容などについて理解を得ることを目的として毎年開催しており、今年も富山県のほか石川、福井、新潟及び岐阜県の高等学校進路指導担当教諭（79校80人）と、学生部長をはじめ各学部入試関係委員など本学関係者（20人）が出席しました。



▲懇談会で説明を行う能登谷学生部長

懇談会では、本学から平成11年度富山大学入学試験の概要や各学部（学科・課程）の特色などについて説明の後、高等学校側から本学に対する様々な質問や要望等

が寄せられるなど活発な意見交換が行われ、充実した懇談会となりました。

## 着物の魅力に歓声！

— 外国人留学生を対象に「着物着付け教室」を開催 —

外国人留学生から「日本に来たのに着物を着る機会がない」、「夏の着物（浴衣）ぐらい着たい」などの要望を受けて、去る7月2日（休）留学生会館において、「ようこそきもの教室へ」（着付け教室）を開催しました。

この企画は、「装道きもの学院富山県認可連盟」の協力（ボランティア）を得て開催したもので、ロシア、アメリカ、ポーランド、マレーシア、中国、韓国など9カ国の留学生46人が参加しました。

当日は、着付けの仕方を英語で記した図入りのプリントも配られ、10人のボランティアの指導により、「本結び」や「リボン結び」などの基本的な帯の結び方を丁寧に習い、浴衣の着付けを学んだ後、振り袖や羽織り・袴にも挑戦し、互いに写真を撮り合い歓声を上げていました。

今回は、授業の合間を利用しての慌ただしい着物体験でしたが、好評で留学生から「今度はいつするんですか」との声もあり、盛況のうちに終了しました。



▲浴衣の着付け指導を受ける留学生

## 学術講演会を開催

経済学部では、去る7月6日（月）、7日（火）の2日間にわたり学術講演会を開催しました。

この講演会は、富山大学国際交流事業基金第2種外国人研究者招へい事業により、学術交流のため滞在中のクウィーンズランド大学（オーストラリア）経済学部上級講師 Paul Riethmuller 氏（専攻：農業政策）により、学生及び一般市民（教職員を含む。）を対象に行われ、第1日目は“Agricultural and Food Policies of the Asian Countries”（アジア諸国の農業・食料政策）、2日目は“Free Trade Benefits Japan VS. Australia”（自由貿易の利益—日本VSオーストラリア）と題し、オーストラリア農業の紹介やアジア農業の諸問題がタイムリーに論じられました。両日とも夜間にもかかわらず第1日目は約100人、2日目は70人の参加者があり、また、参

加者から多くの質問、意見が出され、大盛況となりました。



▲ Paul Riethmuller 氏

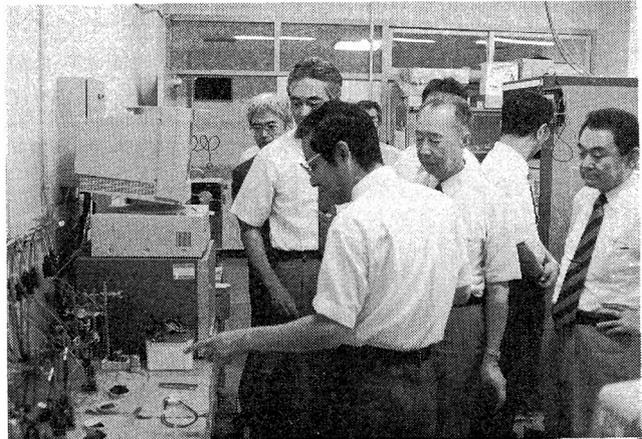
水素同位体機能研究センターで外部評価を実施

水素同位体機能研究センターでは、去る7月23日(休)午後1時から本学で初めての外部評価委員会を開催しました。

当日は、委員長で飯吉厚夫核融合科学研究所長をはじめ委員6人全員が出席されました。

まず最初に、渡辺センター長からセンター設立の経緯、研究活動及び施設設備の整備状況等について説明の後、センター内の視察を行い、各担当の教官から研究テーマ、方法及び使用機器等について詳細な説明がありました。

最後に、評価委員全員で評価について検討がなされ、8月上旬には報告書が学長に提出される予定になっています。



▲渡辺センター長から機器の説明を受ける委員

なお、委員は次のとおりです。(○印は委員長)

- 飯吉 厚夫(核融合科学研究所 所長)
- 奥野 健二(静岡大学 教授)
- 河村 和孝(東海大学 教授)
- 田中 知(東京大学 教授)
- 本島 修(核融合科学研究所 教授)
- 森山 裕丈(京都大学 教授)

海 外 渡 航 者

渡航の種類	所属	職	氏名	渡航先国	目的	期間
外国出張	工学部	教授	杉本益規	連 合 王 国 ノ ル ウ ェ ー ス ウ ェ ー デ ン デ ン マ ー ク	World Congress on Particle Technology 3 に出席, 研究発表, 研究打合せ, 資料収集	10. 7. 4 } 10. 7. 20
	〃	助教授	山本健市	〃	〃	〃
	〃	助教授	神原貴樹	オーストラリア	MACRO98に出席, 研究発表	10. 7. 11 } 10. 7. 18
	理学部	教授	石川義和	フ ラ ン ス ス ペ イ ン	強相関電子系の国際会議に出席, 資料収集, 研究打合せ	10. 7. 13 } 10. 7. 26

渡航の種類	所属	職	氏名	渡航先国	目的	期間
外国出張	工学部	講師	佐山 三千雄	アメリカ合衆国	エヴァーグリーン国際ファジー会議に出席, 研究発表等	10. 7.14 }
	理学部	助教授	細野 忍	カナダ	「ミラー対称性と量子コホモロジーに関する企画調査」についてレビューを受ける	10. 7.26 }
海外研修	理学部	助教授	細野 忍	台湾	研究集会「幾何学と物理学」に出席, 研究発表	10. 7. 1 }
	工学部	教授	吉村 敏章	カナダ	第5回国際ヘテロ原子化学会議に出席, 資料収集	10. 7. 1 }
	理学部	教授	浜本 伸治	オーストラリア	一般相対論と重力に関する第2回オーストラレーシアン会議等に出席, 研究発表, 資料収集	10. 7. 3 }
	工学部	教授	岩城 敏博	フランス	Microscale Transfer に関する国際会議に出席, 研究打合せ	10. 7. 6 }
	理学部	教授	小松 美英子	台湾	「ヒトデ, 特に“交尾”習性を有するカスリモミジガイの発生」に関する共同研究等	10. 7. 9 }
	工学部	教授	北野 博巳	オーストラリア	国際純正応用化学連合世界高分子会議に出席, 研究打合せ等	10. 7.11 }
	〃	助教授	安川 洋生	アメリカ合衆国	国際ファージミーティングに出席, 研究打合せ	10. 7.14 }
	人文学部	助教授	岩井 瑞枝	フランス	ブロック・ブックとインクナブラ関係資料調査	10. 7.24 }
	〃	助教授	呉 人 恵	ロシア連邦	コリヤーク語の現地調査, 資料収集	10. 7.24 }
	〃	助教授	葉柳 靖子	スイス連合王国	ドイツ語文化圏の文化と現代文学等に関する資料収集	10. 7.25 }
	理学部	教授	安田 祐介	フランス オーストリア ハンガリー チェコ ポーランド	国際シンポジウム (ISSHACⅢ) に出席, 研究打合せ, 研究調査	10. 7.25 }
	人文学部	助教授	末岡 宏	中華人民共和国	近代中国に関する資料収集, 調査	10. 7.29 }
						10. 8.19

## (外) (国) (人) (来) (訪) (者)

氏 名 (国 籍)	本国における 所属機関・職名	来 学 目 的	本学受入れ先	期 間
Paul Riethmuller (オーストラリア)	クウィーンズランド大 学上級講師	討論, 意見交換, 研究指導, 講演	経済学部助教授 新 里 泰 孝	10. 7. 5 } 10. 7. 8
Seong-Youl Bae (韓 国)	漢陽大学化学工学科教授 工学技術研究所所長	研究打合せ	工学部教授 熊 澤 英 博	10. 7. 24 } 10. 7. 27
Sun-Young Kim (韓 国)	西江大学化学工学科研 究員			

## 職 員 消 息

### <住所変更>

部 局 名	官 職	氏 名
理 学 部	教 授 (生体制御学)	内 山 実
工 学 部	文部事務官 (学務係学生主任)	畠 山 節 子

## 主 要 行 事

本 部	生涯学習教育研究センター, 総合情報処理センター)
7月1日 第2回教養教育委員会実施専門委員会	第3回中部産業技術研究開発促進産学官連携懇談会(アイリス愛知)
2日 職員定期健康診断(教育学部, 経済学部) SCS検討小委員会 五福地区構内一斉清掃	10日 職員定期健康診断(工学部, 地域共同研究センター)
6日 第5回国際交流委員会留学生部会	14日 交通対策小委員会
7日 国立学校財務センターの国有財産の老朽化, 狭隘の実態調査等 富山県産学官連携懇談会(富山県)	臨時国立大学長・事務局長会議(国立オリンピック記念青少年総合センター)
8日 職員定期健康診断(本部, 保健管理センター,	16日 SCS検討小委員会 教育職員免許法の一部を改正する法律等の施

- 行に伴う説明会（昭和女子大学）
- 21日 高等学校（進路指導担当教諭）と富山大学との入学試験に関する懇談会  
率先実行計画地方支分部局職員等説明会（富山合同庁舎）
- 21日～24日 北陸地区国立学校等監督者研修（金沢大学）  
平成10年度東海・北陸・近畿地区学生補導厚生研究会東海・北陸地区研修会（呉羽ハイッ）
- 23日 教養教育委員会3専門委員長打合せ
- 27日 学生生活協議会体育部会  
就職連絡会議
- 28日 第4回教養教育推進特別委員会  
第3回教養教育委員会実施専門委員会
- 28日～31日 東海北陸地区国立学校情報化担当職員研修（金沢大学）
- 29日 事務改善検討委員会  
第3回教養教育委員会企画専門委員会  
SCS検討小委員会  
官公需確保対策地方推進協議会（富山商工会議所）
- 30日 第6回国際交流委員会留学生部会  
第2回自己点検評価委員会教育活動専門委員会
- 31日 第16回天城学長会議（天城ホームステッド）

## 人 文 学 部

- 7月1日 学部予算委員会  
学部入学者選抜方法検討委員会
- 3日 学部特別昇給委員会
- 8日 教授会  
教授会（人事）  
研究科委員会
- 15日 学部入学者選抜方法検討委員会  
学部自己点検評価委員会  
学部予算委員会
- 21日 学部公開講座委員会
- 22日 学部特別昇給委員会  
教授会  
教授会（人事）  
研究科委員会
- 29日 学部学生生活委員会

## 教 育 学 部

- 7月1日 人事教授会  
教授会  
研究科委員会  
附属幼稚園保育研究会
- 2日 附属教育実践研究指導センター運営委員会  
学部自己点検評価委員会  
カリキュラム委員会
- 3日 水泳指導に際しての救急法講習（附属学校）
- 7日 プール開き（附属学校）
- 8日 学部教務委員会  
学部予算委員会  
学部入学試験委員会
- 15日 教授会  
人事教授会  
学部学生生活委員会
- 17日 附属幼稚園第1学期終業式
- 18日 附属小学校、附属中学校及び附属養護学校第1学期終業式
- 22日 学部教務委員会  
学部将来計画委員会  
学部改組ワーキンググループ会議
- 28日 教官懇談会
- 29日 カリキュラム委員会

## 経 済 学 部

- 7月6日 コンピュータ管理運営委員会
- 7日 広報委員会  
学部入学方法検討委員会  
学部教務委員会
- 8日 人事教授会  
教授会
- 15日 経済学部長候補者選挙  
教授会
- 16日 経済学部長候補者再選挙  
教授会  
学部施設整備委員会
- 21日 コンピュータ管理運営委員会
- 24日 就職指導委員会
- 28日 学部教務委員会
- 29日 学部留学生委員会  
人事教授会

## 教授会

## 理 学 部

- 7月3日 ガラス工作室運営委員会  
 6日 学部入試改善委員会  
 8日 学部予算委員会  
 15日 教授会  
 人事教授会  
 理工学研究科博士後期課程部会  
 23日 学部教務委員会  
 24日 人事教授会（臨時）  
 教授会（臨時）  
 27日 理工学研究科博士前期課程理学部会  
 教務小検討委員会  
 学部就職指導委員会

## 工 学 部

- 7月3日 学生生活委員会  
 仕様策定委員会（材料組織観察システム）  
 8日 3年次編入学試験（学力による選抜）  
 10日 授業終了  
 13日 学部運営委員会  
 14日 学部教務委員会  
 入学試験検討委員会  
 15日 教授会  
 専任教授会  
 理工学研究科博士後期課程部会  
 理工学研究科博士前期課程工学部会  
 工学研究科博士後期課程委員会  
 3年次編入学試験合格発表  
 仕様策定委員会（材料組織観察システム）  
 （持ち回り）  
 17日 電子広報委員会  
 22日 北陸信越工学教育協会富山県支部評議員会・  
 総会（北陸電力㈱地域総合研究所）  
 23日 教授会（臨時）  
 紀要委員会  
 27日～29日 平成10年度工学部外国人留学生実地見学旅行  
 30日～31日 公開講座（「新しいもの創り」） - 21世紀  
 へのアプローチ -

## 附 属 図 書 館

- 7月8日 附属図書館利用説明会  
 28日 第1回書香編集委員会  
 29日 第1回写真集作成小委員会

## 地域共同研究センター

- 7月1日 地域共同研究センター交流振興会理事会・総会  
 22日 企業見学と産学交流会（三菱レイヨン㈱）  
 28日 運営委員会

## 生涯学習教育研究センター

- 7月15日 東海・北陸地区放送利用の大学公開講座第7  
 回連絡会議（名古屋大学）  
 23日 出張公開講座「高齢化社会と法」（福岡町中  
 央公民館）

## 総合情報処理センター

- 7月1日 第1回企画運営専門委員会

## 保健管理センター

- 7月1日 学生臨時健康診断（夏季野外実習（水泳Ⅱ））  
 14日 第1回保健管理センター自己点検評価委員会  
 15日 学生臨時健康診断（健康スポーツ野外集中コー  
 ス（登山））  
 28日 平成10年度全国大学保健管理協会東海・北陸  
 地方部会保健婦・看護婦班研究集会（福井県  
 国際交流会館）  
 29日 平成10年度全国大学保健管理協会東海・北陸  
 地方部会研究集会第2回運営委員会（福井県  
 国際交流会館）  
 29日～30日 平成10年度全国大学保健管理協会東海・北陸  
 地方部会研究集会（福井県国際交流会館）

編 集 富山大学庶務部庶務課  
 富山市五福3190  
 印刷所 あけぼの企画株式会社  
 富山市住吉町1丁目5-18  
 電話（24）1755（代）